

自然保護体験モニターツアーの概要

(R7地域振興推進費事業 予算:680千円)

諏訪地域振興局環境課

自然保護体験と地域資源(観光資源等)を組み合わせ、モニターツアーとして実施し、商品化の実現可能性・課題を整理する

1. 取組のねらい

モニターツアーで利用者目線の評価・意見を収集し、ツアーとしての実現可能性を探る

【モニターツアーを行う理由】

1. 自然保護体験(実践型)をテーマとしたエコツアーは全国的に事例が少なく、独自性はあるものの継続的な環境&観光の商品となるかは未知数。
2. 地域経済システムとして機能するには、組織体制も必要であるが利益を上げられる・地域に寄与する商品となるかの視点は検討に不可欠。
3. 諏訪湖及び霧ヶ峰は観光資源として価値は高く、霧ヶ峰自然保護センターや諏訪湖環境研究センターなど関連施設・ガイド人材はある程度整っている恵まれた環境。

日本エコツーリズム協会が実施するアンケート結果との比較・分析ができる。これにより、自然保護体験ツアーの難易度や実現性を知ることが可能となる。

2. 地域振興推進費での実施理由

- ・ 県が策定した「自然保護センターを活用したエコツーリズム推進」で、**具体的検討は個々の地域で行う**とされている。
- ・ 諏訪湖という**諏訪固有かつ大きな課題に対する取組**の一環。

3. 取組内容

諏訪湖(ヒシ刈り)



【開催時期】

初夏(複数回)

【実施内容】

講習→作業→温泉
(各行程間の交通手配)

【活用する地域資源】

カヤック体験、温泉

【期待する効果】

- ・ 体験以降で作業参加者増
- ・ 参加者の再来訪

霧ヶ峰(草原整備)



【開催時期】

初夏・秋

【実施内容】

講習→作業→見学
(各行程間の交通手配)

【活用する地域資源】

自然保護センター、草原環境

【期待する効果】

- ・ 体験以降で作業参加者増
- ・ 参加者の再来訪

4. 取組の目標値・期待効果

アンケート回答(=参加者数) 80件

参加者のSNS掲載 5件

- ・ R8年度以降の自然保護活動参加者の増加
- ・ 定量的・定性的なニーズの把握